

Q.

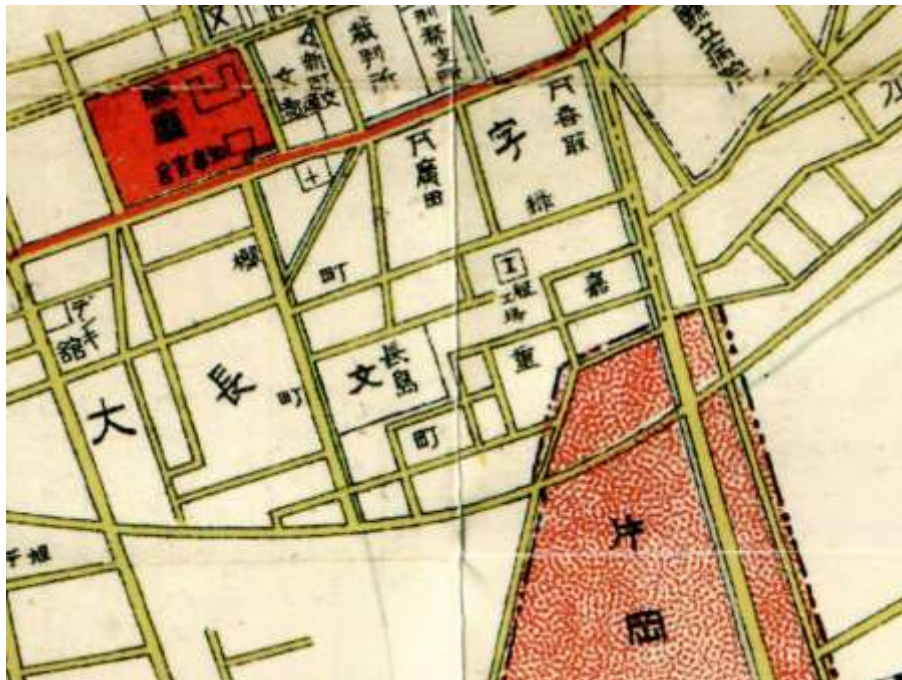
長島地区にある「嘉重町」の名前の由来は何ですか？

A.

「嘉重町」という町名は、かつてこの場所に別荘を構えていた実業家・鎌田嘉助（？-1904）と、その息子・重吉（1886-1927）の名前から一文字ずつとって名付けられたものといわれています。

鎌田嘉助は魚や荒物の行商で財をなした後、着々と事業を拡大して青森市を代表する実業家の一人となり、青森市会議員としても活躍しました。息子の重吉は父の跡を継いで事業を発展させ、青森銀行や青森造船鉄工所などの重役も務めました。

肴倉弥八『青森市町内盛衰記』によると、別荘があった場所は昭和6年(1931)頃、住宅地に変わったそうです。ただし、「昭和二年 青森市勢一覧」(1928年 青森市役所、『新青森市史』資料編7付図)においてすでに嘉重町という町名が使われていることから、町名が誕生した時期はもう少しさかのぼると考えられます。



「昭和二年 青森市勢一覧」(1928年 青森市役所)

〈関連メールマガジン〉

「あおもり歴史トリビア」第310号(平成30年6月15日配信)